

3月

乳がん検診について

消化器外科・乳腺外科部長

つねだ あつし
経田 淳



乳がんとは、乳房にできる悪性腫瘍です。今では9人に1人が乳がんになるとされており、日本人の女性がもっともかかりやすい（罹患率第1位）がんです。

乳がんになりやすい年齢は、30歳代後半から増えてきて40歳代後半と60歳代前半にピークがあります。しかし、どの年代にも発症の可能性はあります。「まだ若いから」「出産・授乳経験があるから」「もう閉経したから」といった理由で安心することはできません。一方、死亡数は第5位を示しており、乳がんは早期に発見すれば比較的治りやすいがんとも言えます。実際、早期（2 cm以下でリンパ節転移無し）に治療を行えば約90%の方が治るといわれており、少しでも早く発見して治療を行うことがとても重要です。そのためには乳がん検診が重要になります。

乳がん検診と言えば、マンモグラフィや超音波検査（エコー）を思い浮かべますが、マンモグラフィだけが唯一死亡率減少効果が証明されています。マンモグラフィ検査とは、乳房をプラスチック板で挟んで撮影するレントゲン検査です。厚生労働省では乳がん検診の方法として40歳以上を対象として2年に一度マンモグラフィ検診を推奨しています。しかし、検診受診率は欧米諸国と比べ非常に低いのが現状で、乳がんの発見契機はまだ半数以上が自己発見といわれています。早期発見のために乳がん検診をぜひ受けてください。

早期発見のメリットとしては他に、がんの治療が軽くなり、その結果身体的、経済的負担が軽くなることや、乳がんではないことを確認することで安心できる精神的な利点もあります。超音波検査に関しては、現在のところ検診には導入されていません。しかし、マンモグラフィ検査が不得意なところを補う目的で、こちらの検査の方が適している方もおられますので、医師と相談してください。

どのがんでもそうですが、乳がんは特に早期発見することで治る可能性の高いがんです。乳がん検診をぜひ受けるようにしましょう。また、精密検査が必要と判定されたら、早期発見の好機ととらえ、怖がらずに精密検査を受けるようにしましょう（10%の方は精密検査を受けずに済ませてしまっています）。それが自分を含めて大事な方の幸せにつながります。

富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」で放送中の行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2025年3月1日～3月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮)胃がん検診や大腸がん検診で異常があったら」

(出演者) 消化器内科医師 菅井 徹也



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ

絶賛
放送中



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>